



健全な土砂環境を構築し、
安全で自然豊かな海部川へ

海部川砂利利用促進協議会 第2回

協議会の議題

1. これまでの取り組みに対する報告

- Aゾーン（河口～3.2km）の河床掘削と大里松原海岸の押土について
- Cゾーン（大井堰～神野堰）の代行掘削による砂利採取の実績について
- 海部川（河口～神野堰）の測量結果について平成10年から平成28年（約18年）の河道変化

2. 新たな砂利利活用制度（Bゾーン）

3. 今後の予定

1. これまでの取り組み

赤字：これまでの取り組み内容
黒字：今後の予定



Aゾーン 河床掘削

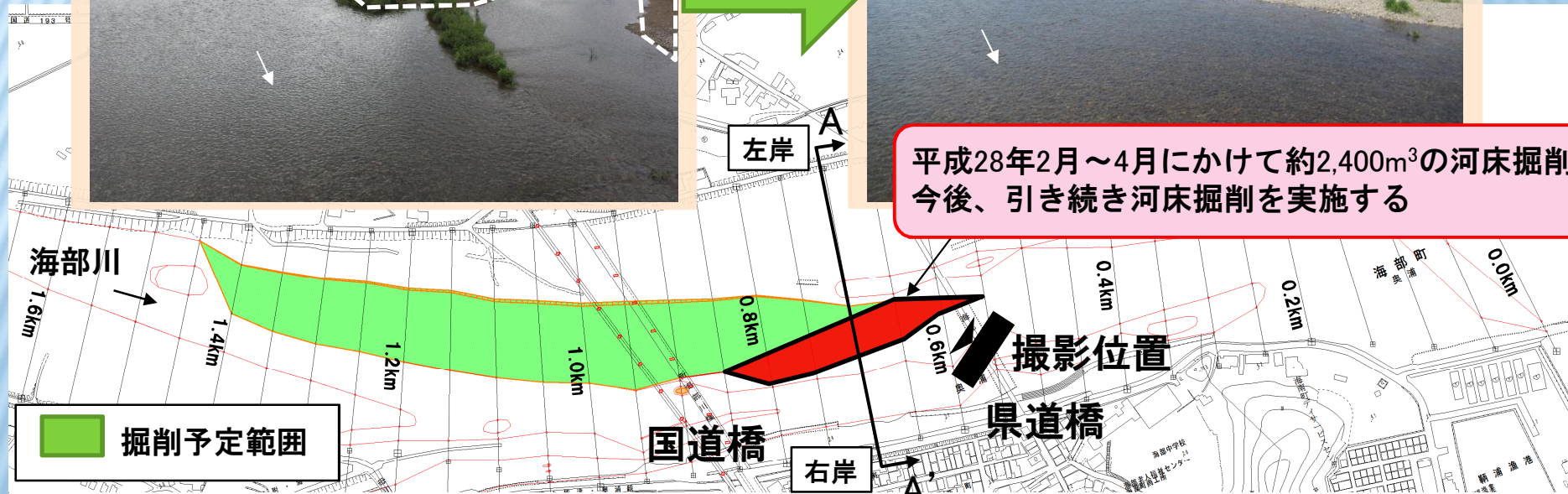
掘削前(平成27年8月)



掘削後(平成28年6月)



平成28年2月～4月にかけて約2,400m³の河床掘削
今後、引き続き河床掘削を実施する



縦横比=1:5

左岸

A-A' 断面

河床掘削

約0.5m

掘削高=T.P+1.50m(海部川橋に影響を与えない高さ)

右岸

大里松原海岸 押土

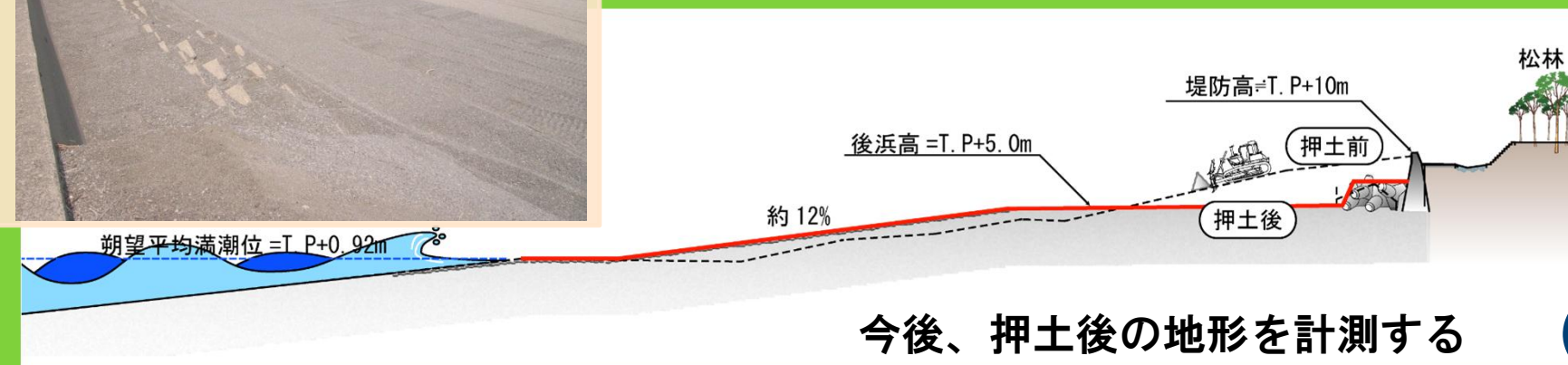
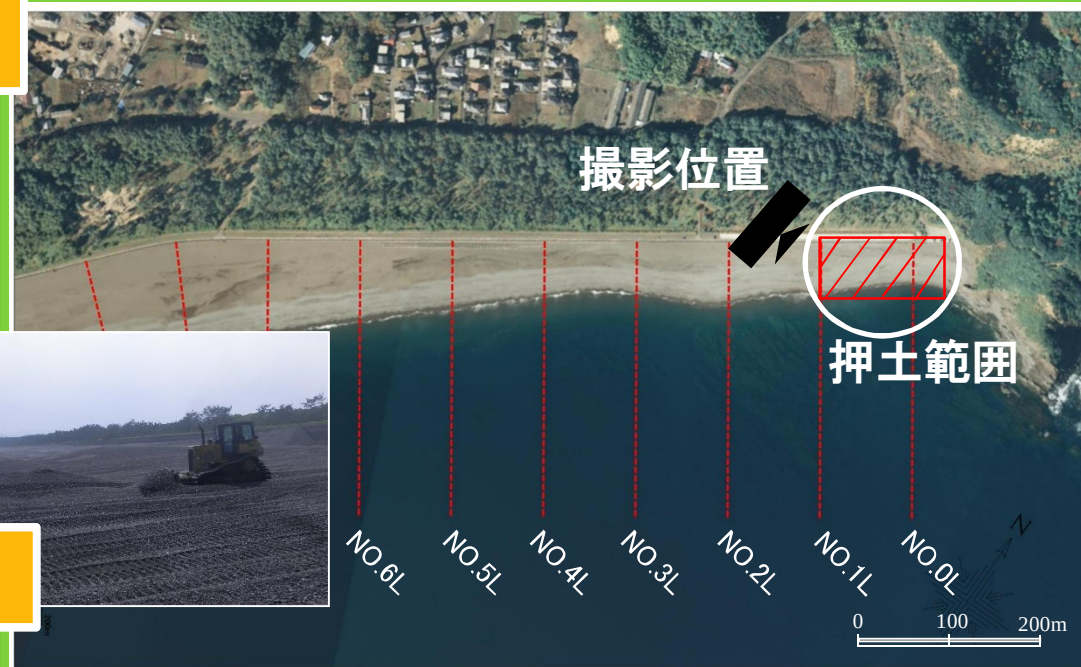
押土前(平成28年4月)



押土後(平成28年6月)

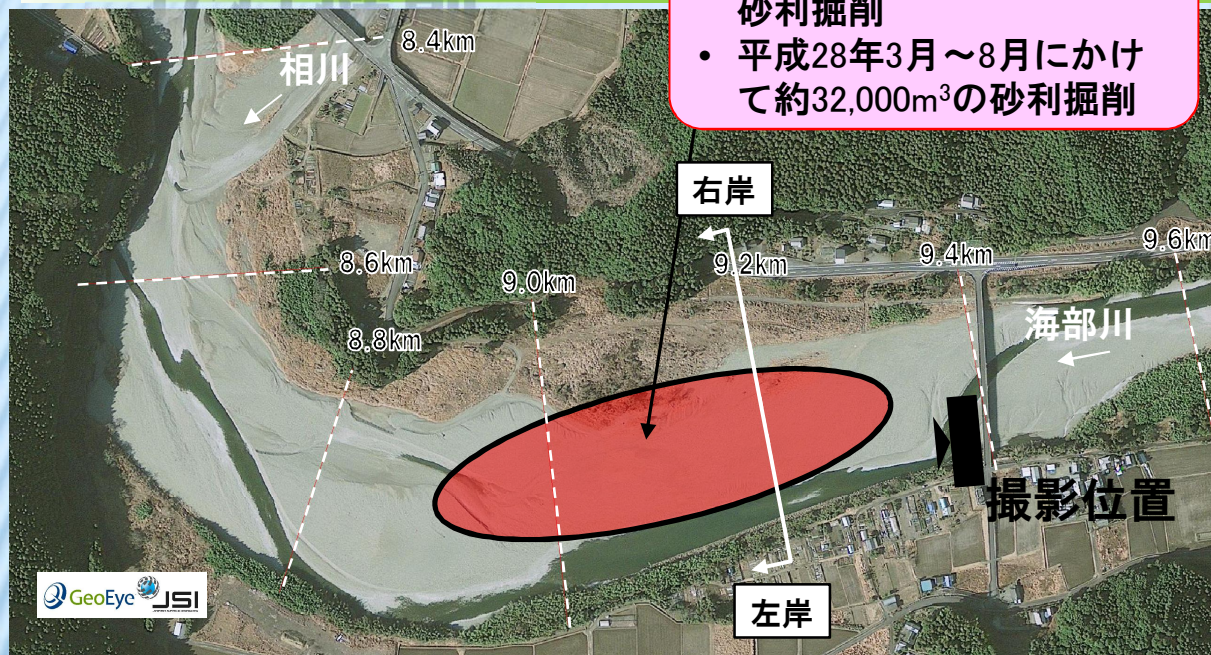


朔望平均満潮位 $\approx T.P+0.92m$



今後、押土後の地形を計測する

Cゾーン 代行掘削

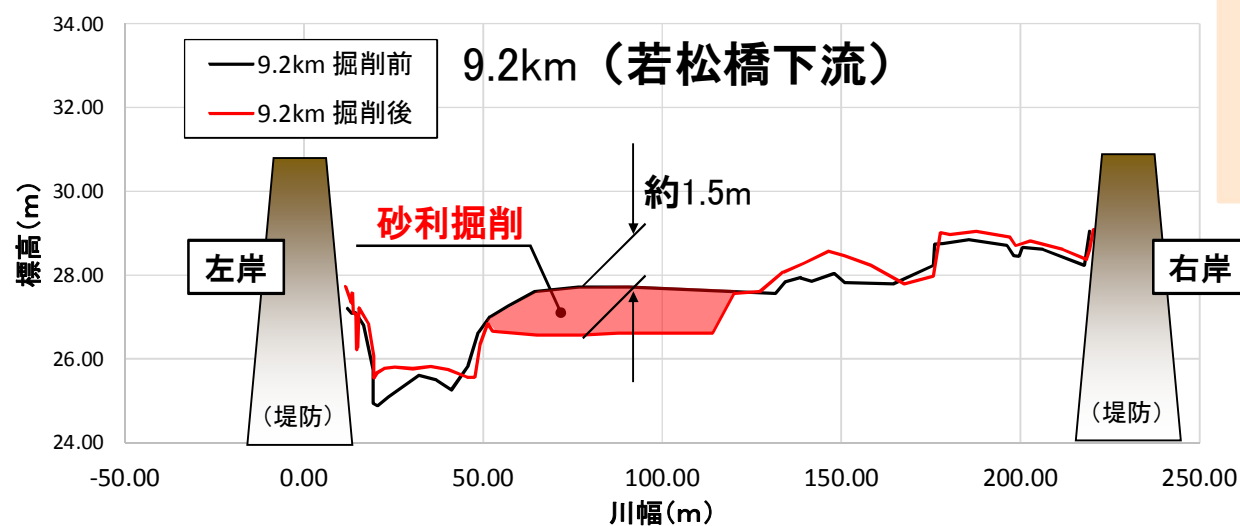


- 6月末時点で約28,000m³の砂利掘削
- 平成28年3月～8月にかけて約32,000m³の砂利掘削

掘削前(平成27年8月)

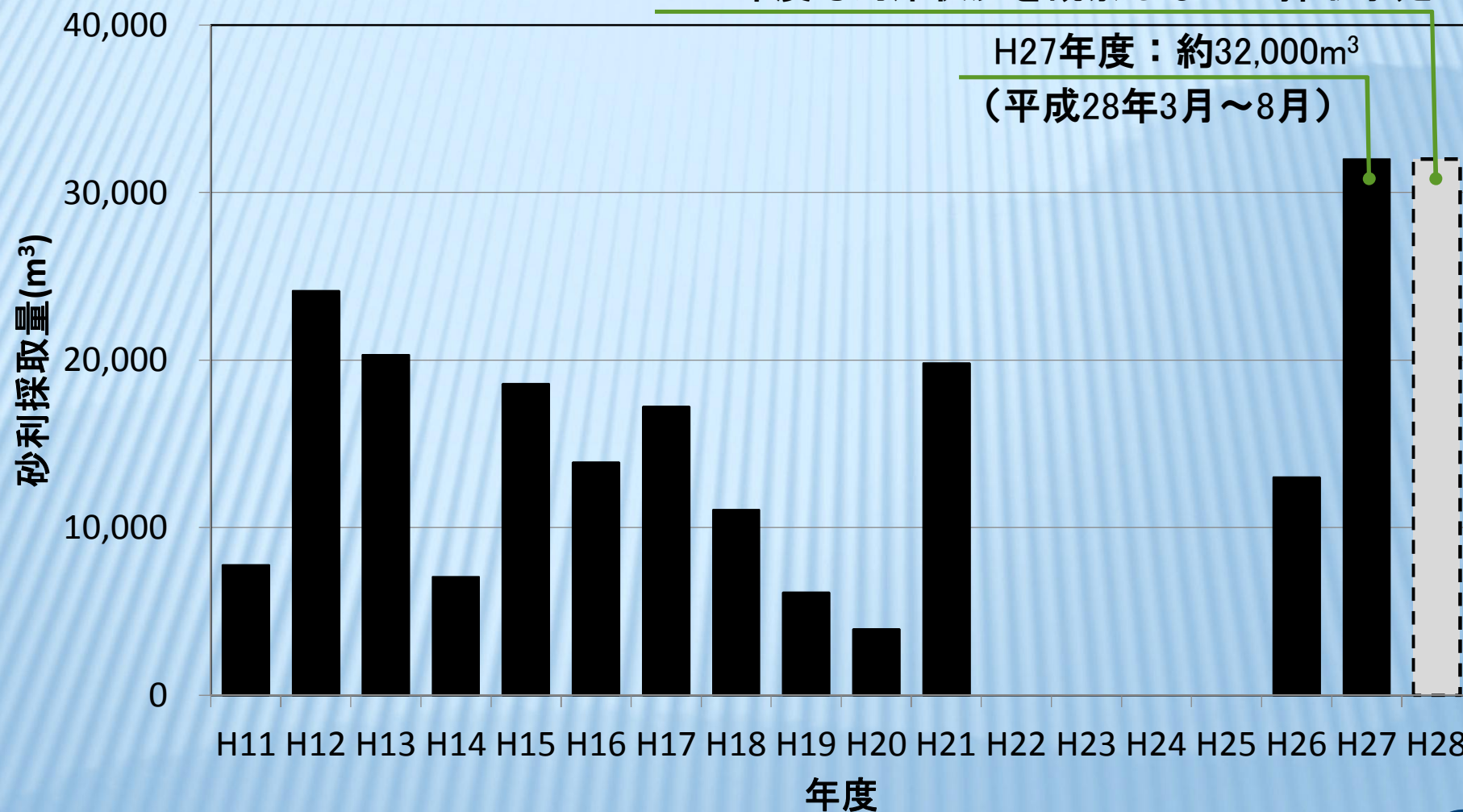


掘削中(平成28年4月)



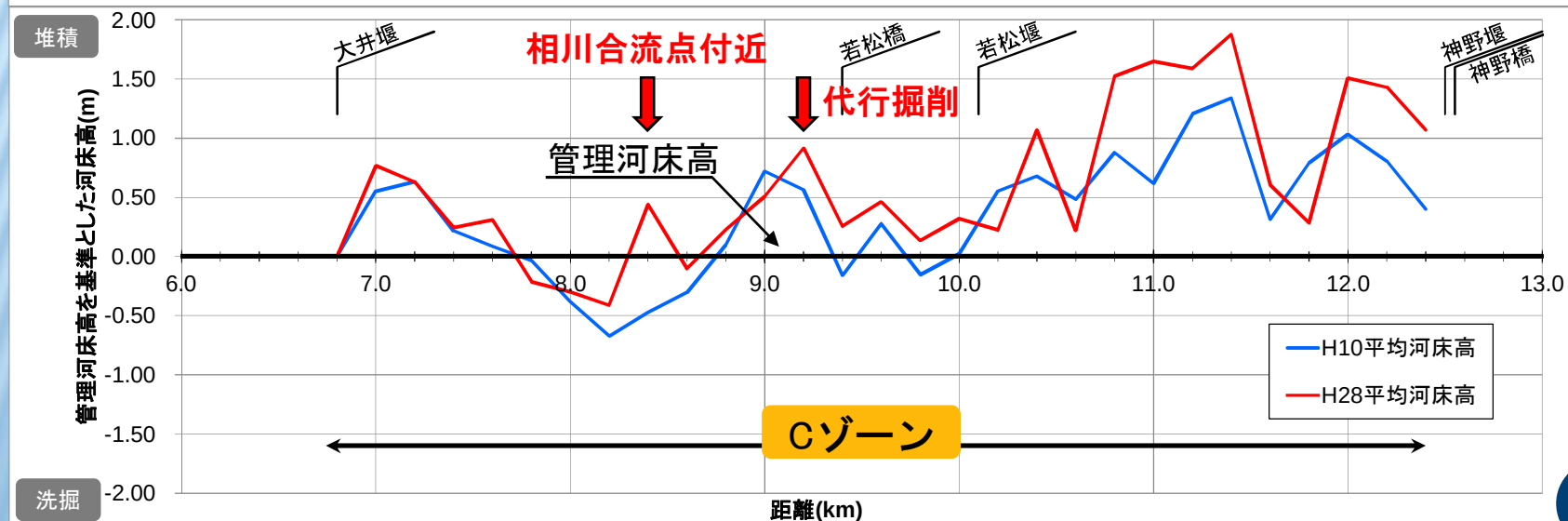
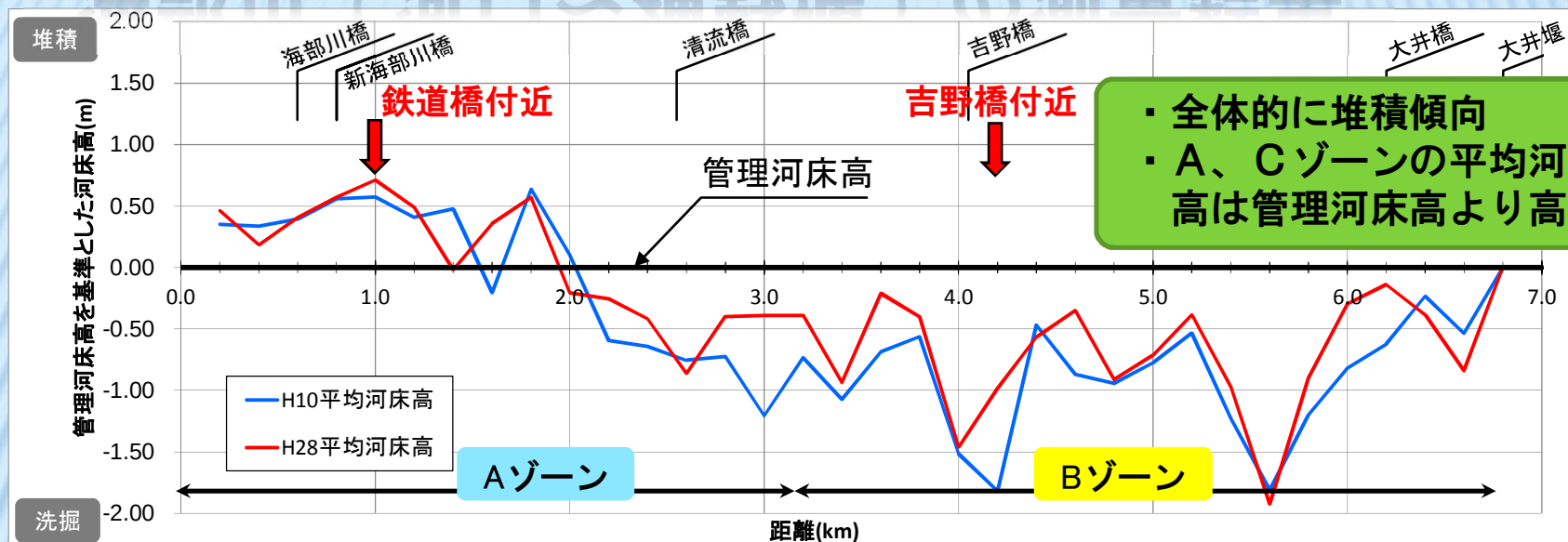
Cゾーン 砂利採取の実績

H28年度も河床状況を観察しながら採取予定

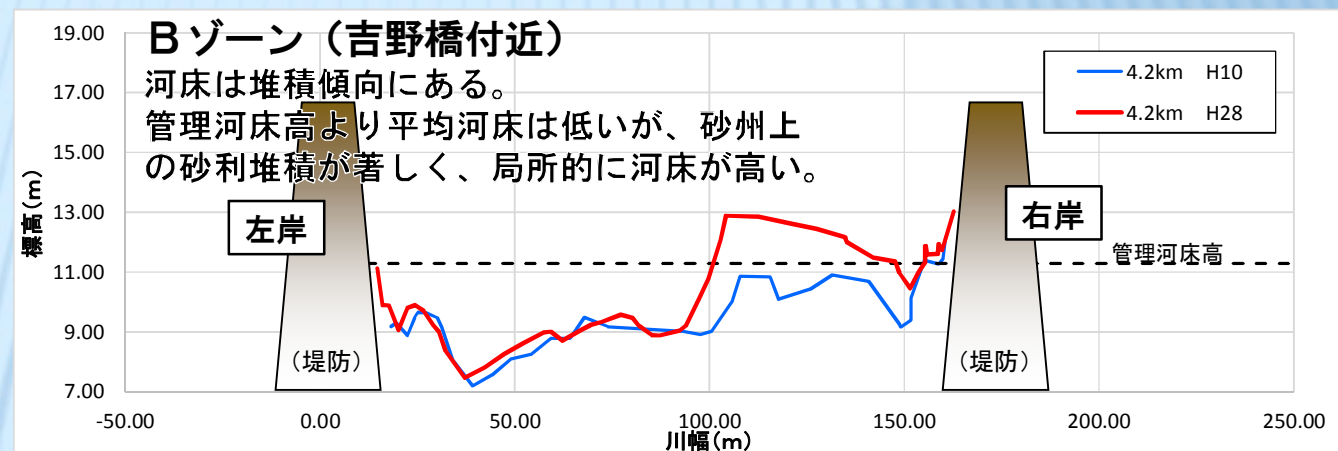
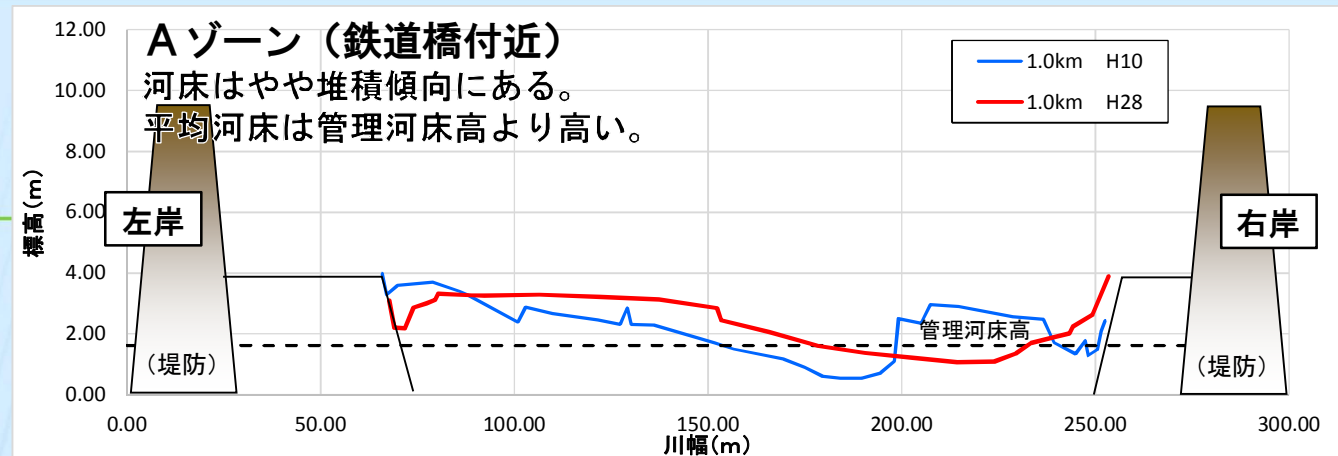


※年度については、事業着手年度とする。

A～Cゾーン 海部川（河口～神野堰）の測量結果



※管理河床高：河川内の施設が安全に機能するため、河床を管理する高さを定めたもの



2. 新たな砂利利活用制度（Bゾーン）

【徳島県・海陽町】

民間による掘削砂利の有効活用を支援

支援

【住民】

掘削砂利の有効活用（用途を制限しない）

（徳島県）

堆積砂利を掘削



選別 （大きな砂利と小さな砂利にふるい分け）



運搬



（海陽町）

仮置場管理



提供



（住民）

掘削砂利
有効活用

HP、広報紙、PRポスター、回覧板用チラシ等

仮置場所、期間等を案内

案内

・ 申込み方法

県又は海陽町に事前
申込み(量・希望日等)

・ 積込み

特定日は海陽町が実施

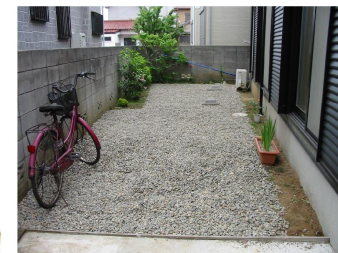
・ 運搬

個人負担

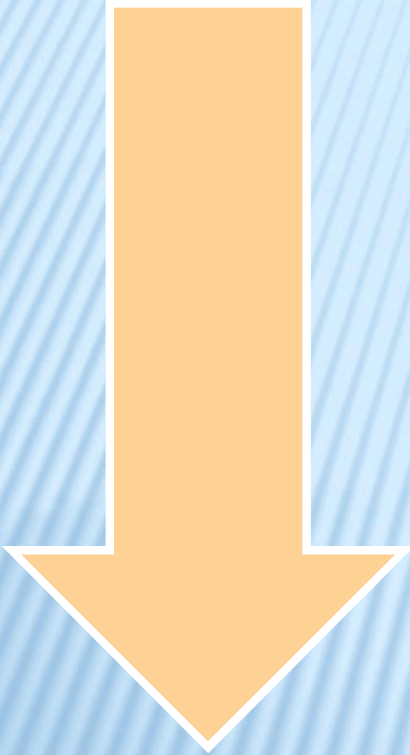
砂利の活用例

- ・ 庭等の草抑え
（個人住宅、事業所等）
- ・ 防犯用敷砂利
- ・ 駐車場のぬかるみ対策
- ・ 砂利道の整備
- ・ 地盤嵩上げ（盛土材）
- ・ 水質浄化材

など...



3. 今後の予定

- 
- ・ Aゾーン、Cゾーンは継続して河床掘削、砂利採取を推進
 - ・ Bゾーンは新たな制度による砂利利活用を推進
 - ・ ドローンによる流域写真の撮影
 - ・ 防災教育（海部川の現状、環境学習、防災学習等）の実施